

■肝斑の新治療法“レーザートーンング”(続報)

毎度おなじみの「ためしてガッテン」の医療シリーズ。今回は謎の赤いシミ。原因は、きれいになるためにやっている①洗顔②メイク③メイク落とし④マッサージなどのスキンケアだということでびっくり。

摩擦によって皮膚が炎症を起こし、発生した活性酸素が血管を拡張させ、メラノサイトからのメラニン色素の産生を増加させるために起こるといふ。

いわゆるシミは、①摩擦によるもの②紫外線③女性ホルモンの減少による肝斑などがあります。治療は、泡洗顔、日焼け止めクリーム、美白剤、抗酸化剤などがあります。3-6ヶ月保存的に治療しても残ってしまった毛細血管の拡張やシミに対しては、レーザー治療が控えています。

これまで、肝斑にレーザー照射は禁忌とされてきましたが、『モドライトC6』による“レーザートーンング”は画期的な治療法として非常に注目されています。2ヶ月間の試用期間も終わり、強い手答えを感じています。

平成 21 年 12 月分原稿

はらクリニック院長 原 徹